

大山街道八王子道ウオーク第14回レポート

第14回レポート小野宮前バス停からメ引バス停そして大山阿夫利神社下社

実施日 2022(令和4)年11月9日(水) 天候 晴れ 風は冷たい

参加者 折本 文雄、前北 勝司、中田 信義、中島 征雄 計 4名

GPSデータ(メ引バス停まで)

歩行距離: 5.3km。累計歩行距離 126.9km。

全体所要時間: 2時間05分。移動時間: 1時間34分。停止時間: 31分。

移動平均速度: 3.36km/h。全体平均速度: 2.54km/h。

大山ケーブル駅バス停⇄往復⇄大山阿夫利神社下社 歩行距離: 約1.6km。

昨日からすっきり晴れ、夕べは44年ぶりの皆既月食・天王星食の共演もあり、今日も朝からハイキング日和。いつも参加されている伊藤さんは体調により欠席(今後の参加もできないとのこと)のため、今日は4名。7時50分頃に集合したのでバス停・厚木バスセンターに向かう。

予定の一本前8時10分発の神奈川リハビリ行きのバスに乗り、8時37分小野宮前バス停で降りる。8時40分に出発。県道に戻り、直ぐの交差点を右折し、玉川に架かる宮前橋を渡る。ここから大山が大きくはっきりと見える。川を渡って直ぐの右側に「小野神社」がある。(8:46~51)
小野神社は延喜式に記載されている所謂延喜式内社である。

道は少しづつ上りとなり途中道祖神や数基の石造仏があり(8:57)、街道であったことが分かる。曲がりくねった急坂を上って行くと十字路の角に「津古久峠」標柱がある。(9:12)

「津古久(つこく)峠標柱」には、

『後北条時代に小田原と武蔵を結ぶ小田原道として発達し江戸時代になると大山参りの人々がこの峠を越え大山道として発達した最盛期には峠にお茶屋もあったと伝えられている。』とある。

左右に日産テクニカルセンターの巨大なビルの間を進み、道路を潜った先(9:18)に「自然散策路」の石柱がある。ここから右の細い道(旧街道)に入る。山道を進むと直ぐに「津古久峠 茶屋跡」の石柱がある。(9:22)

「津古久峠 茶屋跡」の石柱には

『小田原北条時代は小田原と八王子を結ぶ軍用道で、江戸時代には大山参りの道となり、ここにお茶屋があった。』とある。

斜面を巻いて進み「運動公園展望広場」の道標に従って階段を上ったが、この道は間違っていて、本当の道はその先にあった。階段は急で皆様には大変苦勞をおかけしました。お詫びします。階段を上り切ったところからの大山の展望は素晴らしく、疲れたが上った甲斐があったのか。
伊勢原総合運動公園内でトイレがある子供の広場で休憩をとる。(9:39~54)

総合運動公園の野球場脇を通過して下り、野球場やラグビー場のある専修大学総合グラウンド脇を下る。新東名高速道路を潜り県道に出て、東名高速道路の手前で右折し、農道を進む。(高速道路沿いの道路が側道が無く、交通量も多く危険なため)

農道を4・500m程進んで出た道路を左折し、少し上ると左右への道路のぶつかる。この道路が

2016（平成28）年9月21日通った大山街道である。左折すると右側に「道祖神兼道標」が祀られている。（10：30）

東名高速道路を潜り右折、高速道路に沿って進むとバス通りになるので左折すると、右側に「御霊神社」があり、その隣にバス停がある。10時38分に到着。

この先の大山街道は2016（平成28）年9月21日に歩いているので、今回はバス・ケーブルで大山阿夫利神社を参拝する。

10時46分発（少し遅れて来たが）大山ケーブル駅行きのバス（満員）に乗る。大山ケーブル駅バス停に11時05分に着き、参道を上る。バス停から階段の「こま参道」を通り、計382段の石段を上り、バス停から距離約700m、標高差100m位のケーブル・追分駅（標高約400m）に疲れた足を引きずって11：22にやっと着いた。

11：40のケーブルに乗り、約6分で標高680mの下社駅に着いた。標高696mの下社に11：50頃に到着。参拝した。

紅葉の最盛期は今月下旬か。

ケーブルで下り、平成28年のウオークで寄ったお食事処「かんき楼」に入り、昼食とする。当然「湯豆腐」も。

13時46分発のバスで伊勢原駅に向かう。

以上



厚木バスセンター



宮前橋から大山



道祖神



自然散策路入口



津古久峠茶屋跡



総合運動公園で休憩



新東名高速道路の間から見た大山



大山ケーブル駅バス停



こま参道



こま参道



大山阿夫利神社下社



大山阿夫利神社下社